

第59回デメンシアカンファレンスを開催

2020年2月18日

2月18日（火）に富山大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第59回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院、谷野呉山病院、福井県立すこやかシルバー病院の9施設が参加しました。

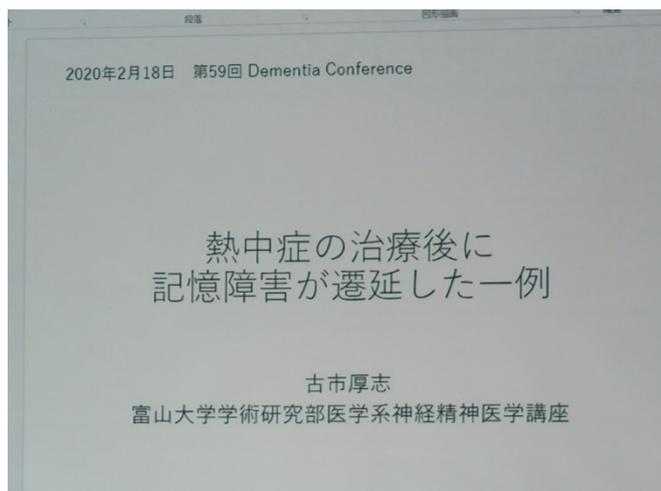
「熱中症の治療後に記憶障害が遷延した一例」のタイトルで、富山大学からの症例報告が進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



症例発表の様子



各会場の様子



症例のスライド



質疑応答の様子

第 59 回デメンシアカンファレンス 報告要旨

『熱中症の治療後に記憶障害が遷延した一例』

発表者：古市厚志（富山大学附属病院 神経精神科）

司 会：高橋 努（富山大学附属病院 神経精神科）

【要 旨】

症例：20 代、男性。X 年 7 月、炎天下の中、公園のベンチで痙攣し白色粉状のものを嘔吐していた。救急搬送され当院 ECU に入院した。40 度以上の高体温、循環血漿量減少性ショックを呈し、熱中症および何らかの薬物による中毒を疑われた。人工呼吸器管理、全身冷却、補液などにより全身状態は改善した。尿中の薬物反応検査には陰性であったが、自宅から遺書が見つかっており自殺企図を疑われ、第 18 病日に精神科に転科した。意識状態は改善したが、前向性健忘および過去数か月間の逆行性健忘を認め、頭部 MRI フレア画像では両側海馬と視床に高信号を認めた。Wechsler Memory Scale-Revised (WMS-R) では視覚性記憶や遅延再生などが低得点であった。精神的には安定していたが記憶障害が続くため、高次脳機能訓練を導入した。発病 1 年後の WMS-R では言語性記憶や一般的記憶が改善し、視覚性記憶は軽度の改善があり、遅延再生障害は持続した。

考察：熱中症による中枢神経障害の報告は、小脳や基底核、視床、大脳皮質などがあり、比較的まれではあるが海馬についても報告されている。熱中症の中枢神経後遺症として、記憶障害を含む高次脳機能障害を認めることがあり、とくに頭部 MRI で海馬の異常所見があるものは注意をはらう必要がある。

【質問・意見】

質問：アンモニアが高いが、熱中症によってみられる所見か。

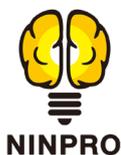
回答：何らかの代謝異常から脱アミノ化が起こってアンモニアが高くなった可能性がある。

質問：熱中症後の記憶障害について、何か治療があるか。

回答：急性期に 48 時間以上の意識障害を呈すると、中枢神経系後遺症が出やすいと言われているので、なるべく迅速に身体的治療を行うことが重要である。

質問：なんらかの薬物を服用していた可能性はあるか。

回答：所持品や状況から薬物の服用は疑わしいが、証拠は得られていない。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第59回デメンシアカンファレンス

2020年2月18日(火) 18:30~20:00

「熱中症の治療後に 記憶障害が遷延した一例」

担当：富山大学

対象：認プロ参加施設及びその他の施設の
医療関係者（医療系大学の学生含む）

会場:認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所
(〇・・・参加者受入れ可)

- 〇・金沢大学（医薬保健学域医学類教育棟地下大多目的室）
- 〇・富山大学（附属病院2階カンファレンスルーム2）
- 〇・福井大学（附属病院2階キャンサーボード室）
- 〇・金沢医科大学（基礎研究棟3階大学院セミナー室）
- 〇・国立病院機構医王病院（外来棟3階小会議室2）
・石川県立高松病院（医局会議室）
- 〇・国立病院機構北陸病院（特殊診療棟2階小会議室）
・谷野呉山病院（共通棟1階ミーティング室）
- 〇・魚津緑ヶ丘病院（5階会議室）
- 〇・福井県立すこやかシルバー病院（管理棟2階応接室）

- ・申し込み不要
- ・出席される方は、受付で出席簿に氏名等をご記入ください。
- ・教育コース履修者の方は、本人保管用の受講票を受理の上、検印を受けてください。

【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL: 076-265-2149 FAX: 076-234-4208

E-mail: ninpro@adm.kanazawa-ac.jp

URL: <http://ninpro.jp/>